

“化粧の力”で社会に貢献

—資生堂ライフクオリティービューティープログラム

(株)資生堂 お客さま・社会リレーション部

提橋義則

(さげはし・よしのり)

資生堂では、肌や心、また身体に悩みを抱える方のために、美容や化粧の技術を通じて QOL (Quality of Life = 生活の質) 向上を目指す活動「資生堂ライフクオリティービューティー (SLQ) プログラム」に取り組んでいる。

その活動の一環として、2006 年 6 月、東京・銀座に「ソーシャルビューティーケアセンター」(本年 4 月「資生堂ライフクオリティービューティーセンター」に改称) を開設した。さらに本年 4 月、中国・上海と台湾・台北、高雄の 3 カ所にも開設し、現地で肌に深い悩みを持っている方への支援活動を開始した。

肌への深い悩みをカバーする

資生堂が、肌の悩み解消に取り組んだきっかけはかなり以前にさかのぼる。1956 年に発売した「資生堂スポッツカバー」は、肌の気になる部分(シミ・アザなど)を隠すための商品で、原爆の後遺症で悩みを持っている方などに、化粧品メーカーとしてお役に立ちたいということから始めた。

90 年初頭ころより、ビューティークリエーション研究所(資生堂グループ)が大学病院の協力を得て、やけどや傷あとなどを化粧によってカバーしようという活動を始めた。しかしスポッツカバーでは厚ぼったくなってしまう。きれいに肌をカバーでき、自然に見えるような商品が必要であり、この活動の成果として赤あざ、青あざを解決できる商品「パーフェクトカバー」を 95 年に発売。厚付きにならず、あざの部分のみに塗布すれば光の効果で見えにくくなるというものである。

その後、通常のファンデーションやコンシーラー(狭い範囲に使うファンデーション)ではカバーが難しい白斑(メラニン色素が抜ける症状)、くすみや凹凸をカバーする商品も発売した。

SLQ センターは 06 年の発足以来、約 1500 人の方にご利用いただいております。お客さまからは「本当にカバーできて嬉しい。水着などで堂々と肌を出せるようになった」など多くの声が寄せられている。センタースタッフはお越しいただいたお客さまに「おもてなしの心」で応対し、「ご自分の素顔に戻り、お化粧を楽しんで元気になっていただく」ために、プライバシーの保たれた空間で、それぞれの肌の悩みに適した化粧品の効果的な使い方をご自分でできるようになるまでアドバイスしており、肌に深い悩みをお持ちの方への QOL 向上を目指している。



パーフェクトカバーシリーズの商品ラインアップ



センターで施術を受け
るお客さま(日本)

上海・台湾にグローバル展開

本年 4 月には中国と台湾にセンターを開設した。背景としては、①中国、台湾の人の肌の色が日本人に似ている、②資生堂として、マーケット

規模の大きい中国に力を入れていこうとしていたことの2点があった。

パーフェクトカバーは病院の先生（皮膚科、形成外科）にご協力いただき開発しており、医師とのつながりは非常に深い。上海でも、こういったことに関心があって患者さんのために何とかしたいと思っておられる先生は多い。センター開設以来、約250名（台湾は約350名）の方が施術を受けられたが、先生方のご紹介でセンターに来られた方は多くいる。これまで中国の方は、肌に異質なものをつけるという習慣がなかったが、上海などの都市部では意識が変わりつつあり抵抗感はなく、多くの喜びの声が寄せられている。

日本ではセンターのほかに、全国の化粧品専門店など300店以上の契約店があり、遠隔地の方にも施術を受けられる体制を整えている。今後は中国や台湾についても、もっと多くの人が施術を受けられる体制をつくるのが課題となるが、海外のセンターは、実際の運営に携わる現地法人の経営事情に合わせながら進めていく必要がある。始めたからには絶対手を引けない活動であり、継続するためのインフラや活動を支える体制などができる状態になってから始めなくてはならない。現地にその体制を構築してもらい、本社としてもスタッフの教育などの積極的な支援をしていきたい。

高齢者、障がい者へ美容セミナー

SLQプログラムの1つとして、各地の販売会社を中心となり、高齢者施設や障がい者福祉施設



上海センターの施術室と活動を紹介するHP（中国）

高齢者施設での活動



（日本）

（シンガポール）

などを訪問して「美容セミナー（資生堂ライフクオリティービューティーセミナー）」をおこなう活動も実施しており、トップ自らエプロンをつけ、口紅をぬってさしあげたりすることもある。この活動は単におしゃれのお手伝いをするのが目的ではなく、化粧品により元気になっていただくという、化粧の持つ心への効果＝「化粧の力」で世の中に貢献したいと考えていることにある。

同様の活動は海外でも展開されており、中国、シンガポール、ドイツ、イタリアなどの現地法人が、現地のニーズに合わせ、さまざまなかたちで活動している。化粧品によって前向きな生活を送っていただく、化粧品によって元気になっていただくという、まさにライフクオリティーを上げる活動をお手伝いしようというもので、世界の資生堂グループ共通の願いでもある。

*

資生堂は、化粧品メーカーとしてこれらの活動を通じてその国の人々のお役に立ち、社会に貢献できる企業になることを目指し、「化粧の力」で肌も心も美しくなりたいと考えている。

◆資生堂ライフクオリティービューティーセンター（完全予約制、利用料は無料）：

<http://www.shiseido.co.jp/slqc>

◆資生堂CSR（本業を活かした活動）：

<http://www.shiseido.co.jp/csr>